

宮崎市自治会

令和7年3月1日

連合会だより

第84号

《編集・発行》宮崎市自治会連合会／総務広報部会
《事務局》宮崎市民プラザ内3F（電話 61-9065）

《U R L》<https://miyazakicity-jichiren.jp>
《E-mail》jichiren@miyazakicity-jichiren.jp



持続可能なまちを目指して

宮崎市長 清 山 知 憲

自治会の皆様方には、日頃から市政各般にわたりまして、ご支援、ご協力を賜りますとともに、住みよい地域づくりのため、市域の防犯・防災活動や環境美化、地域福祉の推進などにご尽力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

昨年は、石川県能登半島を中心として発生した地震・津波をはじめ、全国で地震や台風、大雨など大規模な災害による被害が相次ぎました。本市におきましても、8月8日に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されました。また、8月末には台風第10号により災害救助法の適用を受けるほどの被害が発生しました。

今回の災害を通して、改めて防災訓練など平時の地域の取組みをはじめ、顔の見える関係、つながりによって助け合う「互助」の重要性を実感したところであります。最も頼りになるのは、地域や人との「きずな」であり、その中心になるのが自治会であると考えております。

しかしながら、現在、自治会加入率は減少を続けており、令和6年6月現在で48.8%と半数を下回る状況となりました。若い世代の自治会加入が少なく、役員の担い手不足など自治会の運営は厳しい状況となっ

ております。

本年度は、自治会加入促進に向けた抜本的な対策を検討するため、外部委員8名からなる「自治会加入促進検討会」を設置し、自治会の魅力向上や加入促進についての提言をいただいたところです。

本市としましては、ご提言いただいた内容も踏まえ、自治会連合会をはじめとする関係団体とより一層連携を深め、これまでの取組みに捉われない実効性のある施策を講じていきたいと考えております。

本市は昨年4月に市制100周年の節目を迎えました。新たな時代の幕開けは、次世代の人々が幸せに暮らすことができるよう、自治会連合会の皆様と連携しながら、地域住民がお互いにつながり支え合うきずな社会づくりに努めてまいりたいと考えておりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、宮崎市自治会連合会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。

令和7年度
事業計画

※地域の行事が重ならないよう
配慮いただくとありがたいです。

- | | |
|-------------|-----------------|
| ■ 定例総会 | 6月 7日(土)13:30~ |
| ■ 新任自治会長研修会 | 地区別開催(5月~6月) |
| ■ 自治会長研修会 | 10月 4日(土)14:00~ |
| ■ 市民一斉清掃 | 11月 9日(日) |





「大町を住みよい町にしよう」をスローガンに 日々区民、役員全員で努力しています

大町自治会
会長 稲元 富夫

当自治会はJR宮崎駅東(R7年度宮崎港迄開通予定)隣地の宮脇町・宮ノ脇・大町・大町前・宮ノ前・平塚の一部を区域としていますが、高齢化も進み現在285世帯で自治会加入率が41%と低く、加入率向上を目指して努力しています。特に若い世帯(約40世帯)の加入促進が課題となっています。

コロナ禍で近所との交流が減少している中、地区内の吉村八幡神社(1476年、清水長門守が建立)の神幸祭には約40名の親子が参加、また、「ふれあい祭り」(旧盆踊)には親子で約100名の参加がありました。

公民館内では、じゃんけん、輪投げ、ヨーヨー・魚釣り等のゲームを設け、屋外では全員参加の盆踊りを行いました。祭りの最後には景品多数の抽選会を行い、賑わいを盛り上げています。

敬老会(対象者135名)では地域住民によるハーモニカ演奏、子ども会によるピアノ演奏、飛入りカラオケなど、

食事のひと時を楽しみ、地区内の融和、親睦を目指しています。

檜地区文化祭では、女性会が中心となり2ヶ月以上前から出品作品の制作を行い、当日に展示し大変好評でした。

公民館は自由参加で定期的に卓球、麻雀(掛金なし)、「晩酌しよう会」(一部補助)などを行い、お互いの情報交換、心配事の相談等、団らんの場として有意義に利用されています。

また、地域にも開放し一部の子どもが卓球練習場としており、今年は市内の大会で優勝者が出るなど、嬉しい知らせで我々も喜んでます。地区内には2名の100歳以上の方が元気で過ごされており、敬老の日に記念品を贈ってお祝いしました。これからも住みよい大町にするために、みんなで努力しながら取り組んでまいります。



吉村八幡神社の神幸祭



敬老会



檜地区文化祭

令和6年度宮崎市自治会連合会自治会長研修会について

宮崎市自治会連合会は、令和5年度から各自治会連合会単位で新任自治会長研修会を5月から6月に開催しています。この研修会の目的は、新しく自治会長に就任頂きました自治会長さんの仕事の円滑化を推進するために開催しています。

令和6年度は、21地区の自治会で開催をしていただきましたが、新任の自治会長さん方の参加率は80.08%で所期の目的を達成していると感じているところでございます。

全ての自治会長さんを対象にしました自治会長

研修会は、年1回9月～10月に開催しています。令和6年度は、10月16日(木)に宮崎市民プラザ「オルブライトホール」で開催いたしました。

「大規模災害に備える自治会活動の取り組みについて」生目台西団地自治会長荒川良二様、青島7区自治会長坂口邦夫様の具体的な取り組みの発表がありました。その後、3年連続のパネルディスカッション形式で、「自治会加入促進で、宮崎市と一緒に加入促進が図れる事項とその付帯的な内容についての提言等」、「魅力ある自治会活



絆づくり、住みよい生活環境を目指して

木花区自治会
会長 高橋 武 嗣

木花区自治会は、木花佐久夜姫を祀る木花神社の周辺117戸で構成しています。会員は302人で、70歳以上が105人と高齢者が多くなっています。

自治会行事では、実行委員会を結成(自治会、自治公民館、婦人会、民生児童委員、福祉協力員、子ども会、木花神社運営委員会役員等)して、敬老会・夏季レクリエーション・忘年会・木花神社元旦振るまい等地域全体で取り組んでいます。

敬老会は「このはな寿会」として16回目を迎え、保育園児や子ども会の歌とダンス、マジック、フラダンス、寸劇・三味線演奏等で盛り上がりました。特に園児・児童からは元気をもらいました。以前は会食・カラオケも行っていたのですが、コロナ感染防止の立場から今年も取りやめました。将来を担う子どもたちとの交流は、大事な課題として取り組んでいます。

木花神社は、東に日向灘・青島・サンマリスタジアムを含む運動公園、南に榎鉢山と正連寺平野を展望する標高28mの高台にあり、元旦の初日の出は、「青島」と「このはなドーム」の間に昇ります。毎年150人位が参加しています。当日は、実行委員で「ぜんざいの振るまい」を行っています。県内外から多くの参拝者が訪れている神話伝説の場所であり、「海幸彦・山幸彦」の故郷です。

木花神社の場所は、権現山公園となっており、毎月第1日曜日に権現山公園特別愛護会(自治会で組織)で清掃・草刈り活動を行っています。

自治会の基本は、住みよい生活環境を作ることにあります。木花区内の市道については、事故防止の観点からも随時役員及び会員で道路脇の草刈り・清掃等を行うなど、環境整備に取り組んでいます。6月と11月の一斉清掃では約50人が参加していますが、参加者が年々減少傾向にあります。

役員の高齢化が進み、諸活動に苦慮しており、後継者づくりが課題となっています。



このはな寿会 子ども会のフラダンス



木花神社からの初日の出

動を推進するために、自治会長に必要なこと」等について、3名のパネリスト(田吉自治会長井崎高信様、柏原後迫自治会長富永誠様、松ノ木田自治会長川野治一様)にご登壇いただき、多くの提言をいただきました。

また、今回は、宮崎市地域振興部長山本哲也様にもパネリストとしてご登壇いただき、宮崎市が取り組んでいる自治会加入促進についての具体的な事象の紹介と宮崎市自治会連合会への大きな期待も述べていただきました。



敬 弔

ご冥福をお祈りいたします

●生目地区細江下自治会会長

竹野 広 幸 様

令和6年7月 ご逝去

●高岡地区麓自治会会長

越 智 郁 男 様

令和7年1月 ご逝去

私の住んでいる自治会



「第1回みんなと防災訓練」を実施

高岡地区自治公民館連絡協議会中央支部

藤田 秀行

訓練当日の朝、赤、白、紺の服にロゴや団体名が入ったユニフォーム姿のボランティアの皆さんが準備していると、高岡中学校と本庄高校生徒の皆さん23名のボランティアも集まり始め、会場が賑やかになってきました。

この防災訓練は、高岡地区自公連中央支部と高岡まちづくり委員会の主催で、2024年11月30日(土)、高岡地区交流センターと高岡総合支所駐車場を会場に実施しました。

開会行事のあと早速、ホールでは宮崎市気象防災アドバイザーの濱川秀一氏による「防災講座」で身近な場所での自分の身を守る行動などについて講演をいただきました。

屋外では、起震車による「地震体験」、煙体験ハウスでの「煙体験」、「自主防災資材の点検」及び「消防車両乗車体験、水消火器体験、子供用消防服試着体験」、災害時における「マンホールトイレ組立体験・使用方法」、ハイゼックスを使った「炊出し訓練」などの訓練メニューでした。交流センターのホールの一角には、ダンボールベッドや防災グッズ、パネルなども展示してご覧いただきました。

この防災訓練は、今年8月から高岡地区自公連中央支部、高岡まちづくり委員会、市社会福祉協議会高岡支所、高岡町赤十字奉仕団、市消防団高岡分団の代表に市防災コーディネーターも加わり、毎月1回実行委員会を開催して準備を整えてきました。

今回、132名の参加があり、参加者からは「とてもいい経験をさせていただきました。」「ぜひ来年も実施して欲しい。」というご意見もありました。来年度も今回の訓練を活かして実施しようという機運も盛り上がりを見せていますので、また、新たな訓練メニューも加えて高岡地区自公連中央支部の近隣支部にも拡大して実施する考えです。

最後に、ここ高岡地区は、従来より「自治公民館」として自治会活動を推進しています。自治公民館連絡協議会を構成する42自治公民館のほとんどが、毎年、公民館長が変わるという仕組みの中でのキャリア承継不足等、高岡地区の課題をも垣間見えた防災訓練でもありました。



祝

地縁による団体功労者総務大臣表彰及び全国自治会連合会表彰受賞



地縁による団体功労者総務大臣表彰

宮崎市自治会連合会 副会長 根井 翼 氏

令和6年11月27日に総務大臣より多年にわたり自治会と公民館の両方を牽引し、地域住民の安全と円滑なコミュニティ形成に多大な貢献をしてくられたこと、住民同士の交流を深めるため、地域の祭り等のイベントを企画・開催するなど、地域全体の活性化にも尽力された功績を認められて表彰されました。

<主な活動歴>

自治会長18年、市自治連理事17年、市自治連副会長6年(重複あり)



全国自治会連合会表彰受賞

宮崎市自治会連合会 前副会長 横山 脩二 氏

令和6年11月13日に開催された全国自治会連合会福井県福井大会において多年にわたり地域活動を推進するとともに地域の活性化に尽力され、住民自治の振興発展に寄与された功績を認められて表彰されました。

<主な活動歴>

自治会長13年、市自治連理事10年、市自治連副会長7年(重複あり)